

# 精神症状 自我の障害

## 「自我」

\*ここでは自我を「自分自身を自分だと認識すること」と限定的に捉える。

### 能動（⇔受動）意識の異常

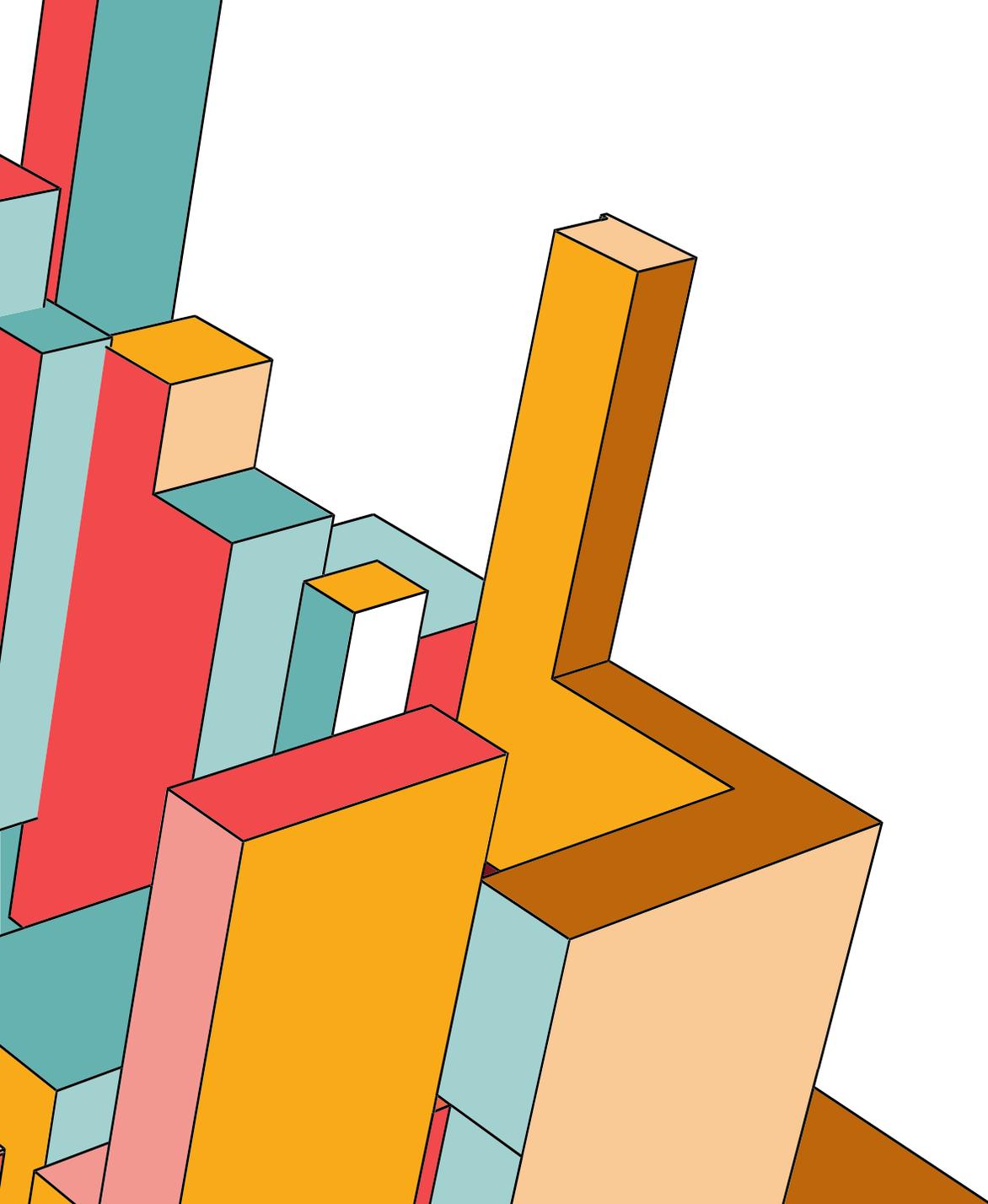
離人症：現実感がない、感情が湧かない、自分がしているという実感がない（離人神経症、解離性障害、統合失調症）

させられ（作為）体験：他者によって影響され、させられていると感じる状態（統合失調症）

\*させられ思考（作為思考）、させられ感情（作為感情）、させられ行為などを含む

### 自我同一性意識の異常

交代人格（多重人格）：2つ以上の全く異なった人格が交代して現れる（解離性障害：解離性同一性障害）



# 精神症状 意識の障害

**意識**：外界の刺激を受け入れて、自己を外界に表出する機能。臨床では、意識障害の把握が重要。

**意識障害を表現する言葉**：明識困難（一見ぼんやり）⇔意識清明、傾眠（うとうと）、昏睡（刺激への反応なし）、昏迷（意識は清明、表出がない状態）、意識混濁：意識の量的異常（明るさの異常）

**せん妄**：意識混濁に錯視、幻視、幻聴などの異常感覚、認知能力の低下が加わった状態。器質疾患（外因性）が基礎にある。（日内変動）

例：夜間せん妄（認知症）、振戦せん妄（アルコール離脱症：振戦・不眠・小動物幻視・不安）